

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

もう間もなく新学年を迎え、新しい学年に心機一転して頑張ろうと決意する高校生の方も多くいらっしゃるかと思います。特にこの4月から高校生活を始める新高1生の方は、今までと全く違う学生生活に対して期待と不安が入りまじっていることでしょう。

2021年度入試から大学入学共通テストが始まり、英語では4技能を測る外部検定試験の受験を求められたり、数学や国語の試験に一部記述問題が導入されたりなど、これまでとは異なる学力が求められる大学入試改革が本格化することを、前回のザ・チャレンジでも述べました。また学力の3要素(①知識・技能、②思考力・表現力・判断力、③主体性・多様性・協働性)が今後の入試では問われるようになります。

新高1生の方はその新テストの2期生となります。入試改革の全体像が少しずつ見え始めた今、これから高校生活が始まる新高1生の皆さんはどのようなことに気を付けて学習していく必要があるか、いくつか

Q. 新高1生の学習ポイントは?

ポイントをまとめていきたいと思います。勉強に不安を抱える新高1生の皆さんはもちろん、1期生である新高2生の皆さんもぜひ確認してみてください。

まずはじめに、大学入学共通テストを含めて入試全体が大きく変わるとはいえ、基礎基本を徹底する学習方法が重要であることには何ら変わりがないということです。科目としては英語・数学を中心に学習しましょう。今からすぐにSpeakingやWritingの対策は必要ありません。英語は基礎となる単語・熟語・文法を早期に固めることが必要です。高2生から4技能対策ができる基礎力を高1生のうちに身に付けておきましょう。

次に、学習習慣を身に付けることです。高校生活が始まると、部活動や学校行事では中学生の頃と比べて、活動範囲も自主的に行動する機会も増えていきます(こうした活動も、文科省が掲げる学力の3要素の一つ、主体性・多様性・協働性につながる)。そうした環境の中で、1日にいかに

隙間時間を見つけて習慣的に学習できるかどうか重要です。

そして、何より重要なことは日々の学校の授業をきちんと受けることです。毎時限の授業を集中して受けることで必要な知識を幅広く身に付けることは、受験に必要な科目かどうかにかかわらず、自身の思考力や表現力を鍛えていくことにもつながります。

これまでになく大きく変わる大学入試には、万全の準備が必要です。しかしながらその変化に踊らされることなく、高1生では高校の授業と基礎固めをベースに、まずは学習習慣を身に付けていきましょう。

(CG高等館・東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な「学び」の情報を紹介。次回は小学校編。



大学進学情報紙「TOSHIN TIMES」
CG高等館・東進衛星予備校各校舎で無料配布中

A. 基礎基本を徹底し学習習慣を身に付ける